

城島町への  
アクセス



久留米市の移住定住の支援や  
空き家バンクの情報などは下記で検索できます。

久留米で暮らそう

検索



【発行】

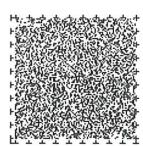
久留米市城島総合支所 地域振興課

〒830-0292 福岡県久留米市城島町楳津743-2

TEL.0942-62-2111 / FAX.0942-62-3732

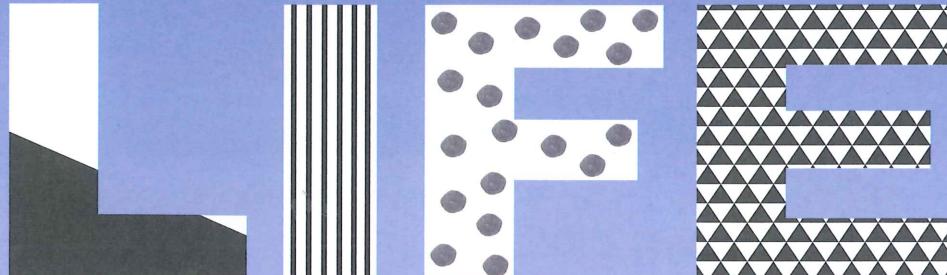
E-mail j-chiiki@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市HP <http://www.city.kurume.fukuoka.jp/>

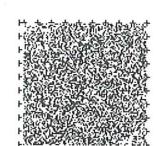


じょうじまライフ

# JOJIMA



福岡県久留米市





## 城島町での生活

大きいなる筑後川の恩恵を受けて育まれてきたまち  
久留米市城島町。

代々受け継がれてきた酒造りや  
いぶし瓦をはじめとする昔ながらの産業  
豊かな自然環境を生かした様々な農作物の栽培  
活気あふれる住民参加型の祭りやイベント  
住民の利用のしやすさを一番に考えた  
充実した公共施設…

城島町は  
歴史と文化、そしてゆとりと潤い  
人々の温もりと活力のあふれるまちです。



# 城島町マップ

城島町の動画を  
少しずつ増やしています。  
動画は下記で  
検索できます。

城島町 ドローン映像 検索



久留米市  
イメージキャラクター  
**くるつぱ**



下田校園



城島リバーサイド  
ゴルフ場



エツ漁(筑後川)



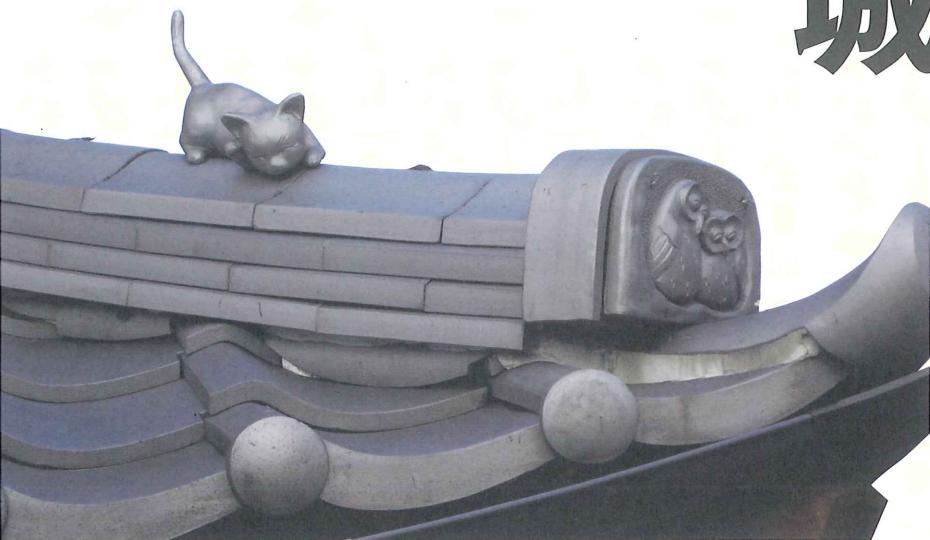
浮島校区



三浦高校



# 城島瓦



城島瓦は、江戸時代に有馬公が丹波の国（現在の京都府・兵庫県）より瓦工を連れてきたことから始まったとされ、約400年もの歴史があります。いぶし銀の光沢を放ち、何百年もの雨風に耐える強度と耐久性が特徴です。屋根瓦だけでなく、芸術性の高い細工を施した鬼瓦や、花器などインテリア工芸品としても生産されています。

城島瓦

# 鬼面瓦

鬼瓦（鬼面）は、お寺等の屋根の飾りとして、その後、民家の「魔除け」として威厳ある日本の瓦の代表として盛んに製造されてきました。鎌倉時代から、獅子や怪獣の顔から、二本角で虎の牙で怒顔の鬼の顔に変わりました。

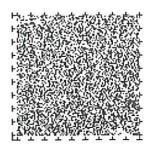
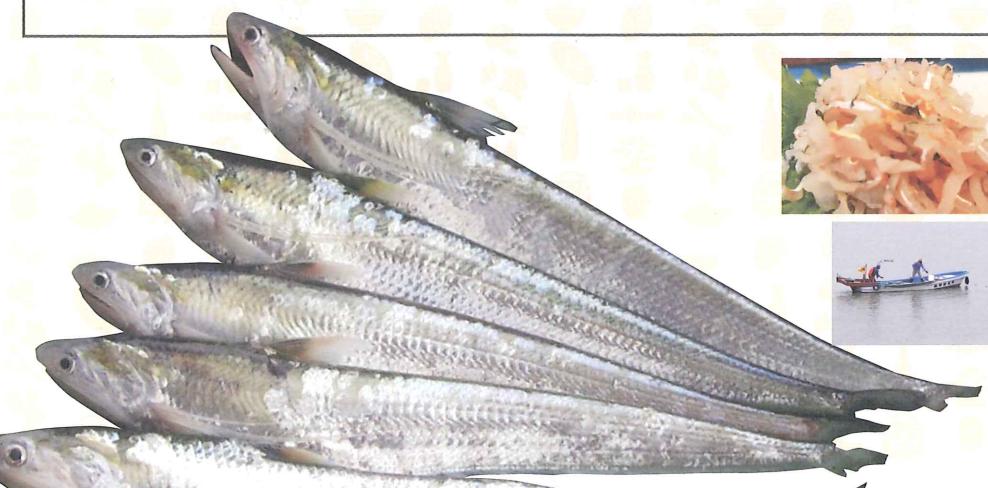
城島町内あちこちに、30基の鬼面があります。鬼面のモニュメントをめぐる「城島鬼面ウォーキング」も毎年開催されています。



# エツ

カタクチイワシ科の魚。日本では有明海にのみ棲息し、産卵の時期になると筑後川をのぼり、筑後川下流域まで遡上してきます。産卵時は身が厚く、骨も柔らかく美味しい。漁解禁時期には、周辺7軒のお店で刺身や寿司、煮付け、南蛮漬けなど多彩なエツ料理が提供されます。有明海に棲息しているエツが、なぜ筑後川だけを目指し遡上するのか。弘法大師が筑後川に流した葦の葉がエツになったという言い伝えもあります。

◆筑後川のエツ漁解禁  
5月1日～7月20日



# 酒蔵

城島の酒づくりは江戸中期にはじまつと言われています。筑後川の豊かな水の恵を受ける肥沃な筑後平野のほぼ真ん中に位置し、その上質な水と米作りに適した土地柄から「酒どころ城島」と呼ばれるほど酒づくりが盛んなまちです。現在、城島町には4つの酒蔵があります。



## 完全城島産お酒「榮」も誕生しました!!

古くから日本酒の醸造が盛んだったものの、原料となる酒米のほとんどは、町外から仕入れられていました。そこで、「地元・城島で作られた山田錦を使って城島産の日本酒を作ろう」という動きがスタート。地元の農家が酒米山田錦を栽培し、城島の酒蔵「花の露」が仕込み、城島の酒屋「酒乃竹屋」が販売する、地元で作った地元のための純米吟醸「榮」が完成しました。城島が元気に、みんなが「榮」えるようにと命名。辛口ですっきりとした味わいが特徴です。

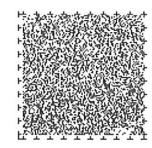


さかえ  
**榮**

（県知事指定特産品）

# 筑後和傘

慶長6年（1601年）、江上村日吉神社の宮司の副業として始まったといわれる筑後和傘。この貴重な伝統技術を残そうと平成7年3月に「城島和傘保存会」が発足し、和傘づくりを行っています。番傘や蛇の目傘など民芸品として人気があります。



## 城島を語る

**女性目線**のお洒落ない草商品を開発  
子育てママが**自由**に働ける場所を!



純国産い草座布団のデザイン・製造・販売  
株式会社 創筵(そうえん)  
代表取締役

しもさか みか  
**下坂 美佳 さん**

### 県外からのリピーターがつくまでにたくさんの苦労がありました

私は北海道の網走出身で、結婚を機に城島にきました。ここ「88(はちはち)ファーム」ではミツバチを使った受粉交配(ミツバチ農法)でマンゴーとライチを作っています。東京など県外からの注文も多くいただいており、嬉しいことにリピーターとなつていただける方が増えてきました。でも、ここまで来るのは苦労の連続、すべてが試行錯誤でした。果物とは会話ができませんし、気温や温度など日々の変化に対応していくことがやつとで。その分「美味しいよ」と言われるのが嬉しいんです。

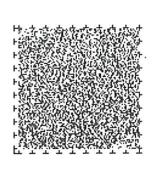
### 城島は熱い人が多い

ここにきて10年になりますが、自信を持って“城島はいいまちです”って言えます。嫁いできたときは知り合いもいませんでしたが、筑後弁にも味付けの違いにもすぐに慣れて、今では地元の人だと間違われるほどです。城島は住みやすいだけでなく、困ったときすぐに手を差し伸べてくれるような熱い人が多いんです。会社を経営している義父のつながりでいろんな人と知り合いましたが、みんないい人ばかりです。

### まちづくりに積極的に参加していきたい

城島出身でない私だからこそ、まちのいろんな面が見えると思うんです。現在は認定農業者協議会に参加していますが、これからも積極的にまちづくりに参加していきたいです。そしていつかこの果物を使ったオリジナルスウィーツ店をオープンさせたいですね。

**大きくて甘いいちご**が実る環境  
たくさん的人が来る**観光農園**を  
つくりたい!



認定農業者協議会 女性部部長  
いちご農家

すえいし  
**居石 うめの さん**

### 女性目線で考えた生活に寄り添った小物を充実

1947年創業以来、安全・安心をモットーに熊本県八代産のい草を使用した商品を販売しています。父の代までは昔ながらの和柄商品がメインだったんですけど、私が社長に就任した2年前からは女性が好むようなおしゃれな柄や形の座布団、またスリッパやコースターなど、生活に取り入れやすい小物の製造も始めました。

### 城島はのどかで人ととのつながりが強いあったかいまち

ここは生まれ育ったまちなので、田園風景も大きな川も、野菜が新鮮で美味しいことも、すべてが当たり前だったんです。出張で県外に行くことが多くなって「ああ、この環境は贅沢だったんだな」と。すぐに城島ののどかさが恋しくなるんです。それから、3人の子どもを育てるママとしてはママ同士の仲が良いことも心強いけれど、みんなで助け合いながら子育てしてるような感覚ですね。そんな人ととのつながりが強い城島が好きです。

### ママの雇用と居場所づくりを積極的にしていきたい

私も働きながら子育てをする大変さを痛感しています。それでもママたちには元気で生き生きしてもらいたい!ママが元気であることが家族であったり、地域全体の活気につながると思うんです。私にできることはママたちの雇用を生み出すこと、ママたちの居場所をつくることかなって。そこで職場を24時間開放することにしました。いつ仕事をしてもいいですし、ちょっとお喋りに、テレビを見ながらゴロゴロしてもらっても。自由に使って欲しいんです。城島中、日本中のママたちと一緒に働けたら嬉しいですね。

88ファーム  
マンゴー・ライチ農家

なかむら あや  
**中村 彩 さん**

**ミツバチ**でつくる  
**マンゴーとライチ**

夢は**オリジナルスウィーツ店**



### 土づくりにこだわった愛情いっぱいのいちごづくり

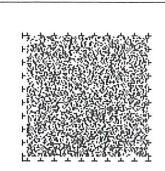
農業は定年後に夫婦で始めて、今年で12年目です。この土は粘土質で養分が残りやすくいちごづくりには最適なんですが、加えて独自にいちから土づくりをしたところ、甘くて大きいいちごが実るようになりました。農作業は休みもないし、大変なことが多いですが、青空のもと気持ちよく働けています。農作物は手をかけた分だけきちんと返してくれますし、花が咲き、実がなってくれるのが、本当にかわいくてたまらないんです。

### 「城島酒蔵びらき」で販売する手作りいちご大福が大人気

認定農業者協議会女性部には30名のメンバーがおりまして、40~60代のパワフルな女性がたくさんいます。研修やセミナーに参加して、意見交換をしながら、日々、みんなで勉強しています。女性部の一番の取り組みは「城島酒蔵びらき」でいちご大福を販売することですね。前日から集まってみんなでいちご大福を作るんですけど、チーム一丸となって作業するのが楽しいんですよ。

### これからも夫婦仲良く、健康でいたい

ご近所さんにいちごで作ったジャムをおすすめしたり、知り合いにいちご狩りを案内したりしているんですけど、いずれはもっと多くの人にいちごの美味しさを感じてもらえるような観光農園が作れたらいいなって思っています。でも一番の目標は、これからも夫婦仲良く、健康でいられることですけどね。



城島町の  
まちの催し

## 城島町 主なイベント

- ・2月 城島酒蔵びらき(会場:町民の森ほか)
- ・6月 城島エツ祭(エツッサイ)(会場:六五郎橋河川敷公園)
- ・9月 城島ふるさと夢まつり(会場:町民の森ほか)
- ・11月 城島鬼面ウォーキング大会(会場:町民の森ほか)

城島  
酒蔵びらき

九州最大の酒蔵びらき。飲み比べや角打ち、お燗コーナーなど、城島・三瀬・大善寺の9蔵の日本酒を楽しむことができます。ステージイベントや地元特産品の販売など、お酒以外の催しも充実しています。

**問い合わせ先**  
城島酒蔵びらき実行委員会(事務局:久留米南部商工会)  
TEL.0942-62-3649

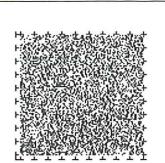
城島酒蔵びらきは「酒どころ城島」を全国へPRすること、そして日本酒という文化を継承していくことを目的に始まりました。当初は、日本酒は国酒なので建国記念日の日に開催していましたが近年は毎年2月、建国記念日後の土日二日間で開催し、10万人を超えるお客様にご来場いただいている。

お酒のイベントではありますが、同時に地域の魅力を知ってもらうためのイベントですので、久留米南西部地域(城島町、三瀬町、荒木町、安武町、大善寺町)一丸となって取り組んでおりまして、マルシェや農産物の試食コーナーなども充実しています。特に三瀬町の特産であるハトムギを使った「元気鍋」は、毎年4,000杯近くの売り上げがあるほど大好評です。

「ここへ來るのが毎年の楽しみ!」と思ってもらえるよう、毎年新しいことへの挑戦も忘れないようにしています。また、西鉄電車・バス、JR九州、JALなど、さまざまな企業と連携し、多くのお客様に喜んでもらえるようなしきけをしています。

城島酒蔵びらきを全国規模のイベントにしていきたいと思っています。城島酒蔵びらきでお会いしましょう!

実行委員長  
うえの けんじ  
上野 賢二さん



## 城島 エツ 祭

エツをはじめとした筑後川の恵みを体感するお祭り。城島中学校吹奏楽部によるステージイベント、エツの唐揚げなどのグルメコーナー、エツの骨切りなど体験コーナーと盛りだくさん。エツづくしが味わえます。

**問い合わせ先**  
エツ祭実行委員会 / TEL.090-8830-8267



実行委員長  
ちよじま かつのり  
千代島 勝則さん

エツという魚は日本でもこの辺りでしか見られない希少な魚ですが、城島では郷土料理として昔から親しまれています。旬の時期のエツは脂がのっていて、本当に美味しいんです。このイベントをきっかけに多くの人に味わってもらいたいですね。

エツ祭ではエツの販売だけでなく、料理教室、料理コンテスト、抽選会など毎年イベントの目玉を変えながら様々な催しを行っていますので、いろんな方に楽しんでいただけると思います。

私たちの役割はエツの魅力をPRすると同時に、エツが住みやすい環境を守ることだと考えています。そのため実行委員会のメンバーを中心に、河川敷公園の清掃やヨシ刈りなども行っています。

城島ふるさと  
夢まつり

大獅子のパレードをメインに、パレード、みこし、総踊りなど、まちをあげてのお祭り。前夜祭と本祭の2日間開催。

**問い合わせ先**  
城島まつり実行委員会 / TEL.0942-62-2115

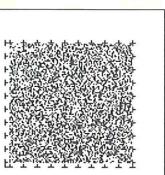


実行委員長  
ちよじま りょういち  
千代島 龍一さん

城島ふるさと夢まつりは、「城島のみなさんが元気になるように!」との思いから始まった市民参加型のお祭りです。地元の女性団体の皆さんによる総踊りに、町内すべての保育園、幼稚園、小中学校の子どもたちのパレードなど、毎年いろんな方が楽しめる賑やかな催しとなっています。

お祭りのシンボルとなっているのは巨大獅子のパレード。15年前に「城島のシンボルとなるような日本一大きな獅子を作ろう!」と、当時の実行委員のメンバーで手作りしたのが始まりです。今の獅子は2代目で赤獅子と黒獅子の2体があり、毎年、成人を迎える方々に獅子の上に乗っていただき餅をまいてお祝いするということも行っています。

「大人になった時にこのお祭りの思い出を通して故郷を思い出して欲しい」「ここを離れることがあっても、城島はいつでも帰れる自分のまちなんだ」というを感じて欲しくて、たくさんの子どもたちが参加できるようなお祭りにしています。名前のとおりこのお祭りが“ふるさとの思い出作り”になればいいなと思っています。



# 城島町 まちの施設紹介

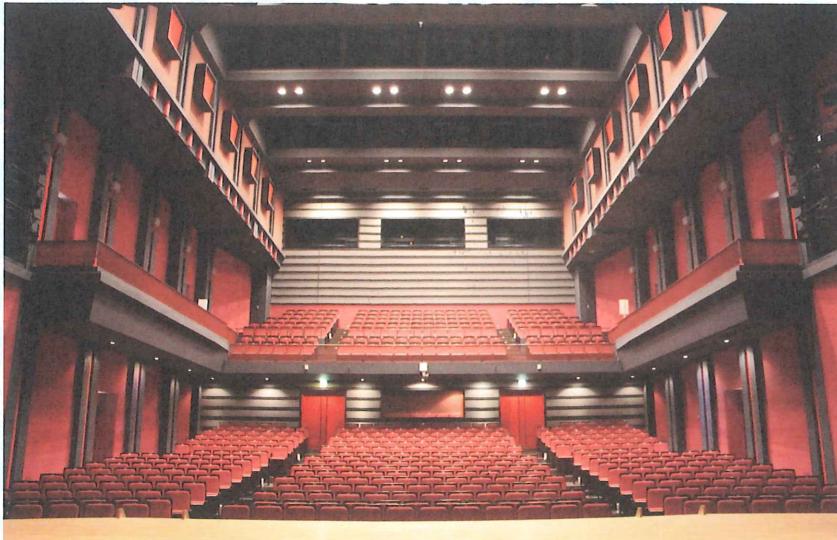
※各施設の場所は  
3ページのマップをご参考下さい

## ① 城島総合文化センター

文化活動の場として、598席のホール、蔵書数約6万冊の図書館、研修室、茶室などを併せ持つ総合文化施設です。

久留米市城島町楳津1-1  
TEL.0942-62-2110/FAX.0942-62-4466  
開館時間:9:00~22:00  
休館日:月曜日、祝日の翌日、12/28~1/4

※インガットホール、和室・茶室、研修室等の問い合わせは一緒です。



### 城島総合文化センター インガットホール

城島町にあった「城島劇場」をイメージして設計された「インガットホール」は、598人を収容し音響設備も整っているため、クラシックコンサートや演劇などイベントが多く開催されています。ホールの迫力は非日常の雰囲気を味わえます。施設名は城島の方言「いんがーっと(丁寧にする)」に由来しています。

### 城島総合文化センター 城島図書館

明るく開放的な雰囲気の図書館。蔵のような閲覧コーナーなど、ゆっくり本を楽しめるスペースが人気です。本はもちろん、CD・ビデオ・DVDも多数そろっています。また、貸し出しや館内でも視聴ができます。

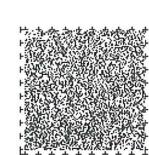
TEL.0942-62-1777  
FAX.0942-62-4466  
開館時間:10:00~18:00  
休館日:月曜日、第4木曜日、12/28~1/4、  
臨時休館(特別整理期間)



## ② 町民の森

野外ステージを備え、イベントを開催できる公園として幅広く利用されています。ステージには酒造りの工程を題材にした版画「筑後酒造絵図」が飾られ、酒どころ城島のシンボルになっています。

久留米市城島町楳津764  
TEL.0942-62-2116/FAX.0942-62-3732(久留米市城島総合支所環境建設課)



## ③ 城島げんきかん

久留米市城島保健福祉センター

### ③ 城島げんきかん

歩行プール、トレーニング室、リラックス室などを備えており、市民の健康づくりを応援します。調理実習室や会議室、和室もあります。

久留米市城島町楳津739-1/TEL.0942-62-2122/FAX.0942-62-2148

開館時間:9:00~21:00、日・祝は9:00~17:00

休館日:月曜(祝日の場合は翌日)、12/29~1/3、臨時休館(プール清掃年3回、市主催事業など)



## ④ 久留米市城島ふれあいセンター

サークル活動、文化教養などの学びの場・宿泊合宿の場・天文の学びの場として、生涯学習の推進を目的とした施設。県外の方まで幅広く利用されています。

久留米市城島ふれあいセンター  
久留米市天文台

筑後地区で一番早くできた天文台。口径40cmの反射望遠鏡を備えた本格的な施設で、毎月第1~第3土曜日は、天体観望会が開催されています。(無料)

久留米市城島町浜293

TEL.0942-62-6226/FAX.0942-62-6688

開館時間:9:00~22:00、日曜は9:00~17:00

休館日:月曜、祝日の翌日、12/28~1/4



## ⑤ 城島リバーサイドゴルフ場

筑後川河川敷を利用したゴルフ場で、自然環境に配慮して無農薬で管理されています。フラットなコースなので、初心者からローハンディの人まで楽しめます。

久留米市城島町浜293

TEL.0942-62-5250

FAX.0942-62-4880

休:5・7・8・9・10・12月の第2木曜日  
(祝日の場合は翌日)、12/31~1/1



## ⑦ 久留米市城島総合運動公園



サッカーや野球などができるふれあい広場、体育館、テニスコート、ゲートボール場、トレーニングセンターが低料金で利用できます。遠方からの利用者も多く、本格的なマシーンが揃うトレーニングセンターは1時間100円で人気です。



## ⑥ 城島子育て支援センター

明るい陽光が差し込むサロン室では、保護者とお子さんとで楽しく過ごせます。骨盤矯正のトレーニング講座や布ぞうり作り、助産師による育児相談、保護者のリフレッシュになるコンサートなど、イベントも開催。ゆったり授乳できる授乳室、相談室もあり。

久留米市城島町楳津743-2 城島総合支所第2庁舎内

TEL・FAX.0942-62-2341/開所日・時間:月曜~土曜日、9:00~17:00

